

悪劣の閉鎖を以て行へしと雖も、銀行の準備を以て
 出せば、端首迄ハ承蒙ノ合胆也。是ニ列テ、各團體皆、此
 鐵道ノ高率増進ノ榮華ヲ受見セヨシトテ閉鎖ノ手段ヲ行進
 ノ幾氣測知イシテ當然來ル所トテ國內資力ニ據リ閉鎖ヲ以
 テハ國內資金ノ取崩テテ、其準備資本家階級ハ資本主義
 主義ニ對テヨリ、國內資本ノ平均利率率ヲ以テモ示シ
 其國內資本主義階級ノ幾氣測知ハ、帝國主義増進ノ一策
 非ず出マテ、今日今茲ノ準備ノ高率ノ良策ヲモシム
 立テ、其支遣ノ準備ニ據リ資金ノ必要ナル場合、其財
 界ノ本準備ニ二鐵道計ヲ以テ、且二鐵道ノ準備會社イシテ
 四準備階級基金設立ノ計

赤松案買問情論答御新編一覽承誌

赤松 山 口 富夫 撰
 山 口 富夫 撰

財團法人協調會大阪支所

アツテ、ソハ我ノ積極戰ニアラスシテ彼等資本家共ノ挑戰
 ニ應ジ已ムナク戰ハネバナラナイ。今日ノ狀態デアル。一
 方政治的方面ニ於テハ古今未曾有ノ反動政府ハ事毎ニ社會
 不安ヲ激發セシメ、無産階級運動ハ暴壓ニ終始セルヲ、彼
 等資本家共ハ、資本階級意識ニ目覺メ反動政治ニヨル所ノ
 凡ユル機關ヲ動員シテ我等ノ陣營破壊ニ全力ヲ擧ゲテ挑戰
 シテ居ル。

如斯時代ニ於ケル我等ノ戰ガ如何ニ至難ナルカハ言フマデ
 モナイ。此反動時代ニ備ヘル階級の意識ヲ通ジテノ經濟的
 基礎ヲ持タナクテハナラナイ、資本ノ戰ヒノ火口ニアル總
 テノ人が考ヘル事ハ敵ノ巨大ナル力ノ前ニ我等ノ力ガ餘リ
 ニ少ナキコトデアル。中ニモ經濟方面ニ於テモ一人考ヘ
 サセラレルモノガアル。一昨年ヨリ昨年、昨年ヨリモ今年
 ト「ス」列イキ」ノ日數ガ長キヲ示シテ居ル。一方鐘詰ト

財團法人協調會大阪支所